

令和元年度 下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○ICT 技術（クラウド AI システム）を用いた汚水マンホールポンプのスマートオペレーションの実証事業（新日本コンサルタント・日水コン・エコモット・北海道大学・富山市共同研究体）

異常検知識別器が構築され、当初の目的に対して一定の成果が得られた。一方で、実証機会の確保や導入効果の具体的な検証方法等の部分に課題が残る。

今後は、導入効果に関する具体的な検証計画を早急に策定したうえで、令和2年度も引き続き研究を実施し、十分な実証データを得て自治体が活用できるガイドラインとなるように留意して進めることが望ましい。